

## 脳卒中に備える。

ご自由にお持ちください

多野藤岡医療事務市町村組合  
公立藤岡総合病院 広報誌

SASAEAI ささえあい 2020 No.34

〒375-8503 群馬県藤岡市中栗須813番地 1 公立藤岡総合病院 経営管理部 経営戦略室  
TEL 0274-22-3311(代表) / FAX 0274-24-3161



### 御巢鷹山慰霊登山

1985年8月12日、群馬県上野村の御巢鷹山に日本航空ジャンボ機が墜落し520名の尊い命が失われました。同年4月に入職した私は外科病棟に勤務し、事故の翌日、生存者4名のうち当院に3名搬送されると知ったのは、テレビのニュースを観ていた入院患者さんからの情報でした。外科病棟のICUで受け入れることとなり、直ぐに術後の患者さんをICUから一般病室へ転室しました。生存者が次々と運ばれると同時に、応援に来た大勢の医療関係者が流れ込み、狭いICUの部屋に多くの医師や看護師がひしめき合い、一斉に骨折や外傷等の処置が行われ、新人だった私も処置の介助に携わったのを憶えています。また、夜勤の人数を増やし先輩看護師がマンツーマンの看護体制で臨みました。遺体安置場所へ出向き、エンゼルケア(遺体の修復)を行いました。先輩看護師もいました。放射線科は、少しでも早く身元が判明することを願い、搬送された遺体の一部をレントゲン撮影していたのが思い出されます。

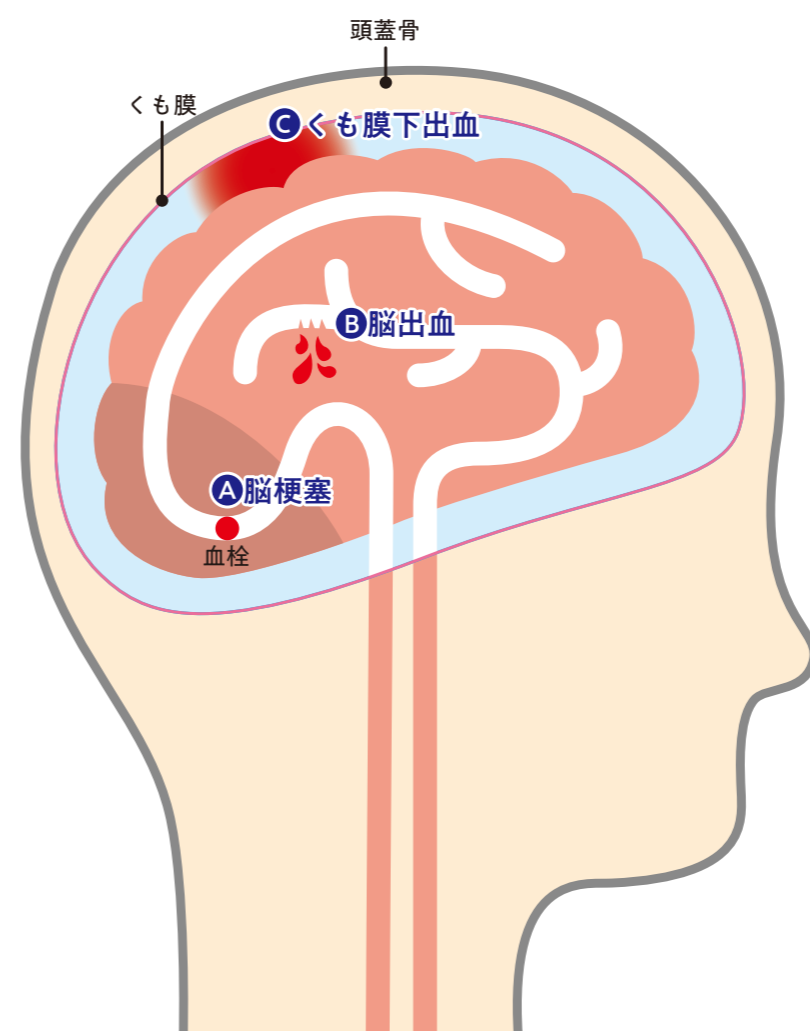
あの日から35年経ち「あの時は大変だったね」と語れるスタッフも現在は数名になりました。

今年は、新型コロナウイルスの影響で慰霊登山を断念した遺族が多いとニュースで知り、入職して35年目を迎えた節目として、また来県できない遺族の思いも込めて、有志5人で8月15日、御巢鷹山慰霊登山に行ってきました。昇魂の碑に辿り着くまで、犠牲者の墓標に手を合わせ、35年経った今でも遺族の悲しみは癒えていないと感じました。

単独機として航空史上最悪のこの事故は、私にとっても看護師人生にとっても生忘れられない出来事として心に刻み続けていくと思います。

副看護部長 足利章江

# 自分や家族を守るために、 脳卒中に備える。

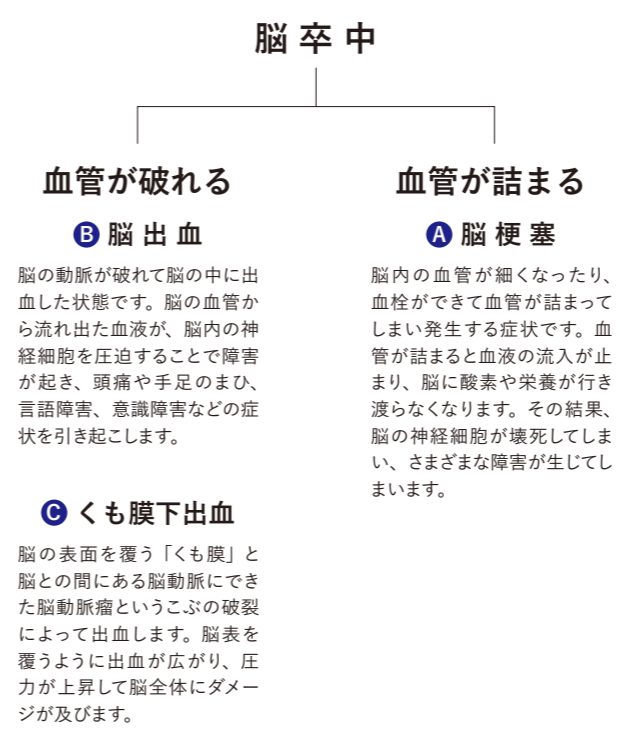


## 「脳からのサイン」

脳卒中を疑う前兆カードです。

ご自身や周りの人に、一つでもこのような症状が見られたら、  
直ちに救急車 (119 番) を呼んで下さい。

### 脳卒中は大きく分け3種類



脳卒中とは、脳の血管が詰まったり破れたりすることで脳の血管障害を起こす病気を言います。大きく分けると「脳梗塞」(脳の血管が詰まる、細くなる)、「脳出血」(脳内の動脈が破れて出血する)、「くも膜下出血」(脳表面の大きな血管にできた動脈瘤というこぶが破れてくも膜の下に出血する)などに代表されます。

脳卒中はある日突然に発症することが多い病気です。重症化を防ぐために、早期発見・早期治療が大切といわれていますが、そのためには、どのような点に注意すべきなのでしょう。命をたぎ後遺症を最小限にとどめる為に必要なのは体のわずかな異変を感じる事です。

今号では、知っておいてほしい発症のサインや予防、発症してからの治療、その後のリハビリについてご紹介します。

脳卒中は人生を一変させてしまいます。脳卒中の知識を備え、自分や家族を守りましょう。



副院長  
甲賀 英明 Hideaki Kouga



部長  
若林 和樹 Kazuki Wakabayashi



医員  
込山 和毅 Kazuki Komiyama

# 当院の「脳神経外科医」

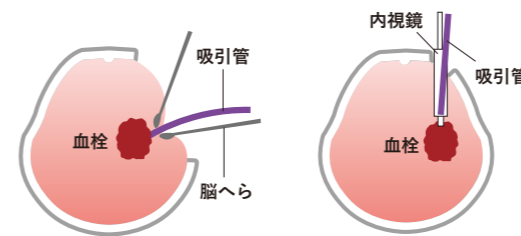
常勤医師3名の他、非常勤医師2名と  
入院診療、救急外来、外来診療、人間ドックを行っています。



## B 脳出血

### 外科手術

出血によりできた血のかたまり(血腫)を取り除き、出血を止めます。開頭して取り除く方法、小さな穴をあけて内視鏡を用いる方法などがあります。

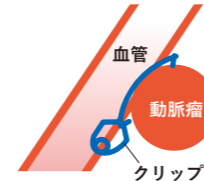


## C くも膜下出血

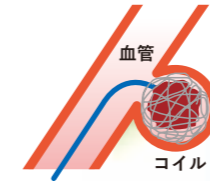
### 手術・血管内治療

破裂した脳動脈瘤が再破裂するのを防ぎます。動脈瘤の根元を小さなクリップで閉じたり、血管にカテーテルを入れて、コイルを動脈瘤に詰めるコイル梗塞術などを行います。

#### クリッピング術



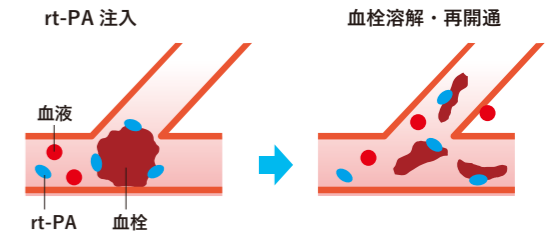
#### コイル梗塞術



## A 脳梗塞

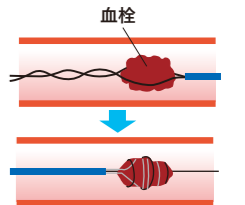
### 血栓溶解剤の投与

発症から4.5時間以内であればrt-PAという血栓を溶かす薬剤を投与します。  
※症状や年齢により投与しないこともあります。



### 血管内治療

rt-PAが適応外であったり、効果がない場合、脳の血管にカテーテル(細い管)を入れ、血栓を絡めとったり吸引取って除きます。



# 治療方法



脳神経外科 部長  
若林 和樹 Kazuki Wakabayashi

日本脳神経外科学会専門医  
日本脳卒中学会専門医・指導医  
日本脳神経血管内治療学会専門医・指導医  
日本脳卒中の外科学会技術指導医



## 急性期の脳卒中に常時対応する準備が出来ている。

脳卒中は治せる病気ですか？

脳卒中は、日本の死亡原因疾患4位。要介護になる原因疾患としては1位であり、いったん発症すると死亡に至ることもあり一命をとりとめても後遺症が残ることも多い疾患です。まずはならないように予防していただくことが大事だと思います。しかし治療で回復することもあり、不幸にも脳卒中を発症された方に対して、早期に適切な診断と治療を行い少しでも症状を軽減させることが我々の役目です。

若い世代の人も脳卒中になりますか？

若い人でも脳の血管の奇形などがあると脳卒中になることがあります。喫煙や肥満などの生活習慣の乱れや、高血圧や糖尿病や高脂血症などの持病があれば若い人でも脳卒中を発症することもあります。生活習慣病はむしろ健康で若いうちから改善することが重要です。

脳卒中の症状が出てから、治療にかかるまでの時間が短ければ短いほど治る確率は上がりますか？

急性期脳梗塞の血行再建では時間が重要とされており、脳卒中一般にそういう傾向であるといえます。ただし時間がかかっても回復するケースもあれば、早く病院受診しても予後が悪いケースもあります。あくまで病態によりますが、早いに越したことはないので疑わしい症状がすこしでもあったら早めに病院を受診していただきたいと思っています。

緊急症例は24時間365日対応

当院では、いつでも専門性をもった急性期脳卒中診断治療ができるようにしています。平日日中は脳神経外科医が初療を担当しますが、人員の関係で夜間休日は待機制になっているため、日当直の先生に初療をお願いしています。総合病院ですからあらゆる救急疾患が来るわけですが、脳卒中疑いの救急は断らずにすべて受け入れていただくようお願いしています。検査内容を統一し、検査結果を待たずに待機の脳神経外科医に連絡していただくようにして診断、治療開始が遅延しないようにしています。これらは院内のスタッフの献身的な協力の上で成り立っています。

当院は検査からカテーテルの治療を短時間で行うことが可能

当院では急性期脳卒中治療は原則すべて脳神経外科で行っており、内科的治療、外科的治療、血管内治療すべてに対応しています。日本脳卒中学会認定の一次脳卒中センターであり、急性期脳卒中治療チーム（脳卒中ユニット）を有しています。脳卒中ユニットでの治療は一般治療より予後を改善するといわれています。脳梗塞の閉塞血管に対する再開通療法は2005年にrt-PA静注療法が日本で使用可能になってから大きく変化しました。この治療は閉塞した血管の血栓を溶解させる点滴治療ですが、太い血管の血栓は溶解できず、治療効果に限界がありました。太い血管の閉塞に対してカテーテルで血栓を回収する治療の有効性が示され、ここ5年ほどで日本でも急速に普及し現在は標準治療となりました。再開通療法はいかに早く行うかが重要で、当院は血栓溶解療法、血栓回収療法とも迅速に対応出来るようにしています。

多くの患者さんは後遺症が残ってしまう現実

残念ながら、治療を行っても多くの患者さんに後遺症が残ることが現実です。しかしその後のリハビリテーションや介護によって有意義な生活を取り戻せることも多くあります。我々脳神経外科は急性期の診断治療に特化して治療を行っています。脳卒中患者さんは合併疾患を有していることが多く、他科の協力を得て診断治療が進められる総合病院ならではのメリットがあります。またリハビリテーションスタッフが充実しており、急性期から回復期までの入院リハビリや退院後のサポートとしての外来リハビリも行っています。また地域の他の医療機関や施設とも密に連携し、介護や二次予防の内科的治療など、長期にわたってサポートする体制があります。



# 脳卒中患者さんの リハビリのこと。

リハビリテーション室長  
作業療法士  
関根 圭介 Keisuke Sekine

を持つための手の動かし方が分からない。そんな今までの生活との大きな違いから落ち込む人も多くいました。また、運動だけではなく、触った感覚がわからなくなる感覚障害、空間や自分の半身を認識できなくなる無視症状、聴くや話すのままならなくなる失語症といった症状、飲食で誤嚥してしまう嚥下障害などを併発するとさらに大変です。

脳卒中後は介入が早いほど回復する確率は上がります。人はただ筋肉や関節を動かしているのではなく、自身の周囲のものや環境と感覚のやり取りをして動いていることがわかっていきます。よって、早期から療法士が適切なやり取りの仲介をしながらのリハビリは適切な運動につながるのです。しかし、多くの人にはつらい大変な道程です。

脳卒中にならないためにも、定期的な検診や血圧のコントロールなど予防がとても大切なことです。



脳卒中による運動マヒの回復は、百人百様です。リハビリを始めて直ぐに回復が見られる人や、10年後に突然良くなる人もいて、その人に合ったリハビリをすることがとても重要です。また、リハビリ以外の時間も積極的に動いている人の方が圧倒的に良くなる傾向にあります。

近年では、リハビリ患者さんの年齢層や後遺症に変化があると感じています。昔は、予防が乏しく、早期に病院に來ないで様子を見て、重症化してしまつてから來る患者さんが多くいました。最近ではメディアや情報の発達により患者さんが知識を持ち、早期に病院へ來る患者さんが多いので、軽症な患者さんが多い傾向です。少しでも疑わしい場合は、直ちに病院へかかることを最優先して下さい。

20年以上患者さんに接する中で感じていることもあります。それは、脳卒中になつてしまうと世界が激変してしまふことです。なんでもない日常動作が1日にして今までのようにならなくなつてしまふのが脳卒中です。今までの身体ではないので、起き上がれない、コップ

## 回復期 リハビリテーション病棟



病棟看護師長  
菊地 弘美 Hiromi Kikuchi

回復期リハビリテーション病棟は脳卒中や骨折の患者さん、病氣により体力・筋力の低下で日常生活に支障が出てしまつた患者さんが、社会復帰に向けて



1



2



3



4



5

1.食事前の口腔体操 2.病院長が撮影した四季折々の写真 3.看護師の食事介助  
4.介助浴室 5.スタッフステーション

リハビリテーションを行う病棟です。回復期リハビリテーション病棟の基本はチーム医療であり、医師、看護師、リハビリスタッフ、栄養士、薬剤師、医療相談員で構成されています。365日継続したリハビリテーションを提供できる様計画し、多職種による家族面談、退院を見据えた外泊練習など行っています。

脳卒中の患者さんでは長期の入院になる方も多く、家族と離れた入院生活で気持ちが落ち込むこともあります。看護師は患者さんの気持ちが明るく、前向きになるよう工夫します。季節感を取り入れた壁飾りで、七夕、運動会、クリスマス、お正月などの季節を彩ります。七夕飾りを手作りし、玉入れの玉を作る、書初めや福笑いなどがリハビリテーションに繋がります。患者さんと一緒に看護師、リハビリスタッフ、医師も笑顔になつて楽しみます。また、食の楽しみを意識し、食事前の口腔体操や口腔ケア、食事時の姿勢や食品の形態、し好を取り入れた食事、皆さんと食卓を囲み食欲や笑顔が出るよう工夫するなど、看護師、管理栄養士が連携して積極的な介入を行っています。

患者さんは退院したら車の運転をしたい、仕事に復帰したい、趣味やサークル活動を続けたいと希望を持ってリハビリテーションを続けています。患者さんの希望を叶えるために、家族や地域の方々と協力・連携を行っています。外出、外泊を繰り返し、家庭や地域に慣れて、安心して退院後の生活が送れるよう、回復期リハビリテーション病棟に関する全職種が連携し、サポートを行います。

登録医のご紹介

したら眼科クリニック 本庄市

2007年3月に埼玉県上里町金久保に上里町として初めての眼科診療所をオープン致しました。当院の理念とする仁の心を大切に大学病院レベルの眼科専門診療を地域の皆様方にご提供していければと考えております。眼科専門医として白内障、緑内障、膠原病由来のブドウ膜炎、糖尿病合併症に伴う網膜硝子体関連疾患、神経眼科、斜視弱視等の小児眼科疾患など、一般眼科診断、治療を丁寧に説明しながら行います。特に白内障手術に対しては極小切開法にて短時間かつ低侵襲の技法にて施行し、眼内レンズも多焦点眼内レンズ、乱視矯正レンズなど各種対応しており、患者様により適したレンズを選択しております。また、緑内障手術に関してはMIGS(低侵襲緑内障手術)を主体に施行しております。尚、現在までのところ約1万件以上(三郷市の分院含む)の実績がございます。



院長 設楽 幸治 Kouji Shitara

〒369-0301 埼玉県児玉郡上里町金久保767 TEL 0495-33-8333 FAX 0495-33-8222  
診療時間:午前9:00~12:30 午後3:00~6:00 ※土曜日は9:00~14:00まで 休診日は水、日、祝日



院長 長嶺 竹明 Takeaki Nagamine

高崎健康福祉大学附属クリニック 高崎市

当クリニックは、患者様にとってより身近な「かかりつけ医」となり、地域に密着した医療機関となることを目指し、高崎健康福祉大学、その関連施設の定期的な健康管理も行っていきます。

主な診療として、内科では地域住民の皆様の一般的な外来診療、高崎健康福祉大学、その関連施設の定期健康診断、各種ワクチン接種を行っています。また、「スギ花粉舌下免疫療法」を行っており、スギ花粉でお困りの患者様からのお声は満足度が高いものがあります。整形外科では萩原先生は膝関節疾患や骨粗しょう症、小林先生は肩・肘関節疾患に対して専門性を活かした医療の提供を行っています。理学療法士は、患者様一人ひとりの症状に沿ったリハビリテーションを行っています。

このように、当クリニックは大学の附属クリニックではありますが、全職員一丸となって地域の方々の健康維持や増進に貢献をしていきたいと考えております。



萩原 明彦 Akihiko Hagiwara

小林 勉 Tsutomu Kobayashi



〒370-0036 高崎市南大類町字旭200-2 TEL 027-388-8840 FAX 027-388-8860  
診療時間:午前9:00~12:30 午後2:00~6:00  
※夏期、年末年始の休診はお問合わせ願います。休診日は土、日、祝日



Fujistagram



#感謝 #ありがとう #thankyou



❤️ 👁️ 📍 【臨床工学技士】  
ありがとうございます。命、ありがとうあなたとの出会い。



❤️ 👁️ 📍 【視能訓練士】  
相談しやすい頼れるスタッフの方々、いつもありがとうございます。ございます。



❤️ 👁️ 📍 【言語聴覚士】  
理学、作業療法士さんからのアドバイスで、言語聴覚士からの視点をより広く持ったりハビリの検討ができています。いつも相談にのって頂き、ありがとうございます。



❤️ 👁️ 📍 【看護師】  
看護師として成長できるようにバックアップをしてくれるスタッフの皆さんに感謝しています。患者さんの力になれるように日々精進していきます。



❤️ 👁️ 📍 【医師】  
いつもサポートしてくれる外来、病棟、手術室のスタッフのみなさん、ありがとうございます。



❤️ 👁️ 📍 【管理栄養士】  
みんなに支えられて仕事ができていることに感謝です。



❤️ 👁️ 📍 【臨床検査技師】  
子育てをしながらでも働ける職場環境に感謝。



❤️ 👁️ 📍 【医師】  
内視鏡スタッフの皆さん、困難な処置の時もたわいない会話も皆さんと共に挑めることがやりがいです。支えてくれて、ありがとうございます！



❤️ 👁️ 📍 【看護師】  
座ってペダルを踏むだけで好きな場所へ連れて行ってくれる「車」ありがとう。これからもよろしく。



❤️ 👁️ 📍 【作業療法士】  
両親へ、いつも遠い地元から応援してくれてありがとう。



❤️ 👁️ 📍 【事務】  
いつも親身に相談に乗って下さる上司や同僚の方々に感謝しています。



❤️ 👁️ 📍 【放射線技師】  
職場の先輩、後輩、いつも明るく働きやすい環境を作ってください、ありがとうございます。

@fujioaka\_general\_hospital 公式インスタグラム フォロー、いいね！よろしくお願いたします！